



平成25年4月25日

各 位

会 社 名 センコー株式会社
代表者名 代表取締役社長 福田 泰久
(コード：9069、東証一部・大証一部)
問 合 せ 先 執行役員 広報担当 佐々木 信郎
(TEL. 06 - 6440 - 5155)

センコーグループ中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループはこのたび、平成25年度から平成28年度までの4年間の中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、平成28年に創業100周年を迎えます。創業100周年を迎えるにあたり、当社グループが目指すべき企業像を「国内外から信頼される流通情報企業」と定め、平成25年度から平成28年度までの4年間の中期経営計画をスタートさせます。

1. 会社が目指す姿

『国内外から信頼される、流通情報企業』

流通情報企業とは：お客様の調達から販売まで、情報を駆使する中、物流・商流を含めて、グローバルに最適な流通サービスを提供する企業。

2. コーポレート・スローガン

『Moving Global』

- ・ 物流を超える
 - 従来の物流企業の枠組みを超える「高品質」な商品・サービスを提供する
- ・ 世界を動かす
 - 「社会との共生」を大切にしながら、「グローバル」な企業活動を展開する
- ・ ビジネスを変える
 - 従業員の成長志向を育み、お客様に新たな価値を提案する

3. 中期経営方針

- (1) 総合・一貫したサービスの提供に向け、物流・商流事業の業容を拡大すると共に、ものづくりへも挑戦する。
- (2) お客様に一層信頼される、高品質でコストパフォーマンスの高いサービスを形成する。
- (3) グループ人材（グローバル人材、社内起業家含む）の育成・確保の為、人材教育・採用活動を強化する。
- (4) コンプライアンスを重視し、環境・安全・健康の先端企業を目指す。
- (5) 財務健全性の確保に重点を置いた財務施策を推進する。

4. 中期経営目標

(億円)

	平成24年度 実績	平成28年度 目標	増加額	増加率
営業収益	2,935	4,000	1,065	36.3%
営業利益	99	150	51	51.4%
営業利益率	3.4%	3.8%	0.4pt	-

5. 中期事業方針

- (1) 「物流センター事業」の業容拡大
- (2) 「商流・貿易事業」の業容拡大
- (3) 収益を重視した「国際物流事業」の展開
- (4) 「ものづくり」への挑戦
- (5) 「業務提携・M&A」の推進

6. 中期経営方針に基づく施策

(1) 事業別の重点施策

流通ロジスティクス事業

物流センター事業の業容拡大（ネット通販、医療・医薬 など）

共同配送事業の拡大

住宅物流事業

在来工法の住宅分野、リフォーム市場への進出

施工や商流の機能を備えた新しい物流サービスの開発・拡充

ケミカル物流事業

樹脂、液体、高圧ガスなど特殊物流の販売拡大
外資系メーカー、専門商社など新規顧客の開拓
共同配送などを含む3PL事業の拡大

その他物流事業

病院引越、オフィス移転など新規事業の開発・拡大

国際物流事業

顧客の海外戦略への対応
海外での物流機能の強化、地域物流網の構築
新興国への進出（カザフスタン、ASEAN諸国など）

商事・貿易事業

商品の製造から販売、物流までを一体化させた商社機能の確立
貿易事業の強化・拡大

(2) 会社の経営に関する重点施策

収益体制の強化

生産性向上活動、間接業務効率化、生産体制の革新

情報化の推進

自動車・倉庫ネットワークシステムの構築、国際クラウドシステムの導入

人事・賃金制度の整備

グループ会社（海外法人を含む）に最適な人事賃金制度の整備

人材育成・採用の強化

グローバル人材の育成、新事業・商事貿易事業向け人材の採用活動強化

財務健全性に重点を置いた財務施策の推進

(3) CSR活動に関する重点施策

環境対応の推進

環境先進企業を目指した積極的な取り組み、循環型社会への貢献活動の推進

安全活動の推進

グループ全体での予防安全活動の積極的な展開

健康活動の推進

健康管理体制・健康増進支援体制の充実

以上